

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2002-135493 ✓

(43)Date of publication of application : 10.05.2002

(51)Int.Cl.

H04N 1/00
B41J 29/38
G03G 21/00
G06F 3/12

(21)Application number : 2000-320846

(71)Applicant : KYOCERA MITA CORP

(22)Date of filing : 20.10.2000

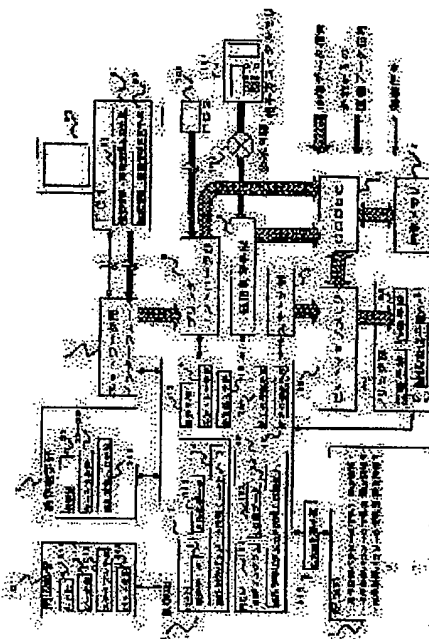
(72)Inventor : TSUJI HIROYUKI
NISHIBE KAZUHIITO

(54) COMPLEX DEVICE

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To solve problems that the recent complex device enables complicated setting, on the other hand, a long time is taken to set it and no setting can be performed while the previous user uses it.

SOLUTION: The complex device is set by a personal computer connected with a network even when the complex device desired to be used is under use and reservation of the setting is made reservation of a user right of the complex device. Furthermore, a job inputted after the reservation is outputted after completion of the job of a person to make the reservation.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination] 10.12.2001

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number] 3467244

[Date of registration] 29.08.2003

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号
特開2002-135493
(P2002-135493A)

(43) 公開日 平成14年5月10日 (2002.5.10)

(51) Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テマコード* (参考)
H 0 4 N 1/00		H 0 4 N 1/00	E 2 C 0 6 1
B 4 1 J 29/38		B 4 1 J 29/38	Z 2 H 0 2 7
G 0 3 G 21/00	3 7 6	G 0 3 G 21/00	3 7 6 5 B 0 2 1
G 0 6 F 3/12		G 0 6 F 3/12	C 5 C 0 6 2

審査請求 有 請求項の数 7 O L (全 16 頁)

(21) 出願番号 特願2000-320846 (P2000-320846)

(22) 出願日 平成12年10月20日 (2000.10.20)

(71) 出願人 000006150

京セラミタ株式会社

大阪府大阪市中央区玉造1丁目2番28号

(72) 発明者 辻 博之

大阪府大阪市中央区玉造1丁目2番28号

京セラミタ株式会社内

(72) 発明者 西部 一仁

大阪府大阪市中央区玉造1丁目2番28号

京セラミタ株式会社内

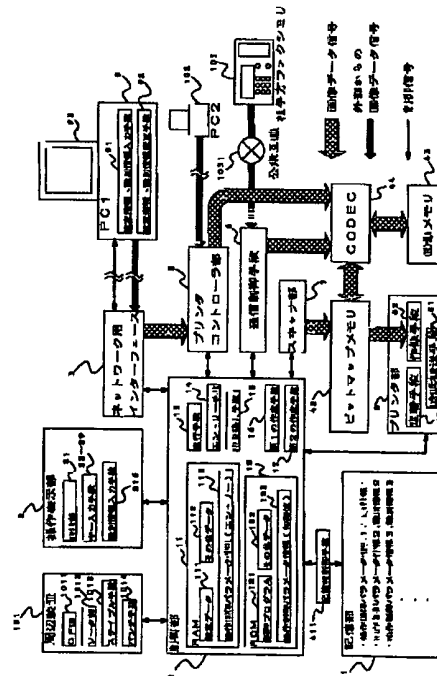
最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 複合装置

(57) 【要約】

【課題】近年の複合装置は複雑な設定が可能な反面、設定するのに時間がかかる。さらに前のユーザーの使用中には設定ができないなどの問題が発生していた。

【解決手段】使用したい複合装置が使用中であってもネットワークに接続されたパソコンで設定ができ、設定の予約が複合装置の使用権の予約になる。さらに予約後に入ってきたジョブは予約者のジョブ終了後に出力する。



【特許請求の範囲】

【請求項1】複数の機能を持つ複合装置において、ネットワーク回線によって接続されたパソコン上で入力された前記複合装置の設定情報から操作制御パラメータ情報を作成する第1の作成手段と、前記パソコン上で前記設定情報に関連付けて付与された識別情報とともに前記操作制御パラメータを記憶する記憶部と、操作表示部から入力された識別情報に該当する前記記憶部に記憶された操作制御パラメータ情報を呼び出し、この操作制御パラメータ情報に従って複数の機能を実行する実行手段とを有することを特徴とする複合装置。

【請求項2】前記記憶部に記憶された複数の操作制御パラメータ情報のうち、ネットワーク回線によって接続されたパソコンから呼び出しができ、この呼び出された操作制御パラメータ情報から設定情報を作成する第2の作成手段を有することを特徴とする請求項1に記載の複合装置。

【請求項3】前記識別情報はユーザーによって付与されるID番号であることを特徴とする請求項1乃至2に記載の複合装置。

【請求項4】前記識別情報は自動的に付与される時刻データであることを特徴とする請求項1乃至2に記載の複合装置。

【請求項5】前記識別情報は設定情報を作成したネットワーク回線によって接続されたパソコンの識別データであることを特徴とする請求項1乃至2に記載の複合装置。

【請求項6】前記ネットワーク回線によって接続されたパソコンから設定情報の入力があったことは当該複合装置を使用する権利の予約を兼ねていることを特徴とする請求項1乃至5に記載の複合装置。

【請求項7】予約以後に入ってきたジョブは、出力せずに画像メモリに格納され、予約が解除されてから実行されることを特徴とする請求項1乃至6に記載の複合装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は複写機、スキャナ、ファクシミリ、プリンタ、とくにネットワーク回線に接続された複合装置に関する。

【0002】

【従来の技術】近年、複写機、スキャナ、ファクシミリ、プリンタ、等のオフィス機器では、それぞれ単体専用機として、多機能化、高速化、低価格化等が進む一方で、これらの機能を1つにまとめた複合装置が一般的になりつつある。また複写機単体としてもジョブ内容が充実しており、画像の回転処理、枠消し、2in1出力、4in1出力、「マル秘」「重要」などのオーバーレイ、合紙モードなどができることはあたりまえである。さらにこれらの複合装置には後処理装置がオプションで

取り付けられることにより、印字物にパンチ穴を開けてみたり、ステイプル処理ができたりして簡単な製本機能を持つものもある。

【0003】その他スキャナの機能としては、ネットワーク回線を介して指定したパソコンに画像を送ることもできる。ファクシミリやプリンタは従来と同じように用いることも可能であるし、当然ファクシミリやプリンタ出力に対しても上述した処理はできる。このように近年の複合装置はユーザーによる複雑なジョブ設定が可能になってきている。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】ところが上述したジョブ設定を行うにはかなり熟練した人間であっても時間がかかり、設定を行っている間には他のユーザーがこの複合装置を使えないので迷惑を掛けてしまう。

【0005】さらに複合機なので、ファクシミリの受信中や前のユーザーが使用中にはその設定ができなかった。また使用中であることを確認したユーザーが出直してあとでもう一度きても、別のユーザーが新たな印字を行っていたり、新たなファクシミリ受信のために際限なく待たされるという事態もあり得る。このように最悪なことにならないように複合機の使用効率を上げることが望まれている。

【0006】

【課題を解決するための手段】上記問題点を解決するために、本件第1の発明は、複数の機能を持つ複合装置において、ネットワーク回線によって接続されたパソコン上で入力された前記複合装置の設定情報から操作制御パラメータ情報を作成する第1の作成手段と、前記パソコン上で前記設定情報に関連付けて付与された識別情報とともに前記操作制御パラメータを記憶する記憶部と、操作表示部から入力された識別情報に該当する前記記憶部に記憶された操作制御パラメータ情報を呼び出し、この操作制御パラメータ情報に従って複数の機能を実行する実行手段とを有することを特徴とする複合装置を用いる。

【0007】本件第2の発明は、前記記憶部に記憶された複数の操作制御パラメータ情報のうち、ネットワーク回線によって接続されたパソコンから呼び出しができ、この呼び出された操作制御パラメータ情報から設定情報を作成する第2の作成手段を有することを特徴とする第1の発明に記載の複合装置を用いる。

【0008】本件第3の発明は、前記識別情報はユーザーによって付与されるID番号であることを特徴とする第1の発明～第2の発明に記載の複合装置を用いる。

【0009】本件第4の発明は、前記識別情報は自動的に付与される時刻データであることを特徴とする第1の発明～第2の発明に記載の複合装置を用いる。

【0010】本件第5の発明は、前記識別情報は設定情報を作成したネットワーク回線によって接続されたパソ

コンの識別データであることを特徴とする第1の発明乃至第2の発明に記載の複合装置を用いる。

【0011】本件第6の発明は、前記ネットワーク回線によって接続されたパソコンから設定情報の入力があったことは当該複合装置を使用する権利の予約を兼ねていることを特徴とする第1の発明～第5の発明に記載の複合装置を用いる。

【0012】本件第7の発明は、予約以後に入ってきたジョブは、出力せずに画像メモリに格納され、予約が解除されてから実行されることを特徴とする第1の発明～第6の発明の複合装置を用いる。

【0013】

【作用】本件第1の発明は、予め使用したい複合装置の設定をパソコンから設定しておき、その複合装置を使うときに操作表示部から識別情報を入力して呼び出すことにより設定がなされるので、使用したい複合装置が使用中であっても自分の設定が可能である。さらに識別情報により呼び出すので、複数の設定情報があっても間違えることなく選択しやすい。

【0014】本件第2の発明は、以前に設定された設定情報に基づいてそれを変更することにより新たな設定情報を作成できるので、複雑な設定であっても2回目以降は作業が容易になる。

【0015】本件第3の発明は、識別情報をID番号とすることにより、他のユーザーの設定を呼び出す失敗はなくなる。尚これはパスワードでも良い。

【0016】本件第4の発明は、識別情報を時刻情報として自動付与することにより、識別情報をユーザーの手を煩わすことなく付与でき、さらに時刻情報からどれが自分の設定かはおおよそ見当がつく。自動付与されるものとしてはランダムに発生するパスワードを用いても良い。

【0017】本件第5の発明は、識別情報をパソコンの識別データとすることによりユーザーにより識別は容易である。尚最近のパソコンは1人のユーザーが用いる程度に普及してきているのでいっそう識別しやすい。

【0018】本件第6の発明は、設定情報が複合装置の予約を兼ねることにより、設定はしたが後のユーザーが割り込んだすることにより使用できないということはない。また予約が入っていることを操作表示部で知らせれば後のユーザーも調整ができる。

【0019】本件第7の発明は、予約が入っている複合装置にあとから入ってきたファクシミリ受信やプリントデータは出力せずに画像メモリに格納し、予約が解除されてから印字されるので、予約を入れておけば後から入ってくるジョブに先を越されることなく、さらに後のジョブに対して迷惑をかけることもない。

【0020】

【実施例】本発明を採用する複合装置の実施例を図1に基づいて説明する。同図において、この複合装置は、制

御部1、操作表示部2、ネットワーク用インターフェース3、記憶部41、ビットマップメモリ42、画像メモリ43、CODEC44、プリンタコントロール部5、通信制御手段6、スキャナ部7、プリンタ部8、周辺装置101などから構成されている。

【0021】詳しくは、前記制御部1は当該画像形成装置の各構成を制御しており、設定データ111、その他データ112、操作制御パラメータ情報（エントリー）113などを記憶したRAM11、各種制御プログラム121、操作制御パラメータ情報（初期値）123、その他データ122などを記憶したROM12、前記RAM11の操作制御パラメータ情報（エントリー）113を用いて各設定を実行する実行手段13、前記記憶部41の選択された操作制御パラメータ情報を前記RAM11にエントリーするエントリー手段14、既にエントリーされている操作制御パラメータ情報の内容を操作制御部2からの指示に従い書き換える書き換え手段15、設定情報を設定するためにネットワーク回線を介して接続されたパソコン1（以下PC1）からの設定情報に基づいて操作制御パラメータ情報を作成する第1の作成手段16、逆に操作制御パラメータ情報に基づいてPC1で読み込む設定情報を作成する第2の作成手段17などから構成されている。

【0022】前記操作表示部2は、ユーザー情報を表示するための表示21、各種専用キーやテンキーなどのキー入力手段22、前記記憶部41に格納された操作制御パラメータ情報を選択する際に識別情報を入力する識別情報入力手段23などから構成されている。操作制御パラメータ情報の一覧を表示部21に表示しつつ選択する方法も便利で良い。

【0023】前記ネットワーク用インターフェース3は、当該複合機をネットワーク回線に接続してデータの入出力を行うためのものである。図中PC1（9）のみしか接続されていないが、実際はネットワーク上の複数のPCからジョブ設定は可能である。

【0024】前記記憶部41にはPC1からの設定情報に基づいて前記第1の作成手段16により作成された、各々識別情報と関連付けられた複数の操作制御パラメータ情報が格納されており、この記憶部41から記憶部制御手段411は前記制御部1からの識別情報に該当する操作制御パラメータ情報を前記エントリー手段14に送る。

【0025】前記ビットマップメモリ42は、前記スキャナ部7からの画像データ、PCから転送されてくるコード化された画像データを前記プリンタコントロール部5、CODEC44を介して送られてくる画像データ、相手方ファクシミリから公衆回線、前記通信制御手段6、CODEC44を介して送られてくる画像データをフルビットマップの画像データとして展開、保持する手段である。

【0026】前記画像メモリ43は、前記スキャナ部7からの画像データ、PCから転送されてくるコード化された画像データを前記プリンタコントローラ部5、CODEC44を介して送られてくる画像データ、相手方ファクシミリから公衆回線、前記通信制御手段6、CODEC44を介して送られてくる画像データを圧縮した画像データとして格納する手段である。

【0027】前記CODEC44は、画像データは普通圧縮された送られてくるので、この圧縮データを伸張するものである。またスキャナ部7で読み込まれた画像や、これを回転したり拡大、縮小した加工データなどを圧縮して前記画像メモリ43に格納することも行う。

【0028】前記プリンタコントローラ部5はプリンタケーブルで接続されたPC2やネットワーク回線などから転送されてくる画像データを前記プリンタ部8で出力するためにあるもので、フォントデータやコード化されたデータを伸張する機能をもつ（実施例は複合機のため図中別途CODEC44を設けてある）。

【0029】前記通信制御手段6は相手方ファクシミリ103から公衆回線1031を介して送られてくる画像データを受信するもので、回線の接続、プロトコルのやりとりなど一連の動作をおこなう。

【0030】前記スキャナ部7は自動原稿送り装置（DF部）91があり、1枚ずつ原稿にハロゲンランプで光あてその反射光をCCDセンサで読み取り、このアナログ信号をA/D変換でデジタル信号に変換し、画像処理をして、後段のビットマップメモリ42に展開していく。

【0031】前記プリンタ部8は給紙搬送手段81、作像手段82、定着手段83などから構成されており、給紙カセットから給紙された用紙は前記作像手段82によりトナー像を転写され、これが定着手段83の熱ローラと圧ローラのニップにより挟持、加熱されることによりトナー像を定着される。

【0032】前記周辺装置101としては原稿を読み取るための送り装置であるDF部1011、印字されて排出された用紙を丁合したり、指定部数ずつをまとめるソータ部1012、複数枚おきにステイプルでとめるステイプル手段1013、パンチ手段1014などがある。これらの周辺装置101は本体の前記制御部1と通信することにより同期して制御されている。

【0033】本発明を採用する複合装置の操作部表示部を図2に基づいて説明する。まず基本画面について説明する。表示部21はLCD表示部であり、表示とともにタッチパネルを兼ねている。この画面では倍率、カセットおよびバイパスの選択、両面の設定、写真モード、露光などの設定ができる。基本タブ2111、変倍タブ2131、機能タブ2151はそれぞれのタブにタッチすると、その機能の設定画面に移る。基本ガイダンス表示部2112はユーザーに情報を知らせる「コピーできま

す。1（枚づつ）」などの表示を行う。設定表示部2120は現在の設定「100%、自動用紙」などを表示する。その他は設定で選択されたもの以外は図中にあるようにマスクがかけられ現在の設定作動モードがわかりやすくなっている。この画面では倍率：100%、コピー枚数：1枚、自動用紙選択でA4横がセットされた第1カセットが選択され、露光はほぼ真ん中の強さにある。写真モードなどは選択されていない。

【0034】図中の右側にはテンキー22、ストップ／クリアキー23、オールクリアキー24、スタートキー25が設けられている。前記テンキー22はコピー枚数などの数値入力に使われ、前記ストップ／クリアキー23は直前の入力を取り消すキーで、前記オールクリアキー24は設定された設定作動モードをワンタッチで初期設定作動モードに戻すキーである。前記スタートキー25はコピーの開始キーとして、またモードの決定などのキーとして使われる。

【0035】上記変倍タブ2131を選択すると変倍用の画面に切り替わり、上記機能タブ2151を選択すると機能選択画面に切り替わる。

【0036】その他タブ161を選択すると、本件の特徴である設定呼び出し画面になり、ID入力パスワード入力画面などが表示される。

【0037】その他の図中右側にあるキーは当該複合装置をファクシミリとして用いるときのキーであり、直接送信キー261、オンフック／会話予約キー262、ポーズ／リダイヤルキー263、短縮／電話帳キー264などはその名通りの操作を行うキーである。短縮キー27は、予め登録した相手先にワンタッチでダイアリングするためのキーである。コピー／ファクシミリキー281はコピーモードとファクシミリモードを切り換えるキーで、その左横には現在のモードがどちらかを表示するコピー／ファックス表示キー282がある。モードクリアキー29は前記直接送信キー261、オンフック／会話予約キー262、ポーズ／リダイヤルキー263、短縮／電話帳キー264などで設定したモードをクリアするキーである。

【0038】本発明の特徴部分を図3～図7を用いて説明する。図3は当該複合装置にネットワーク回線を介して接続されたパソコンPC1で設定をおこなうときのモニター画面93である。表示された内容はウィンドウ内に複合装置の操作表示部と同じ様なレイアウトになっており設定をしやすいようにしている。ここでは図2に示したコピーモードの基本画面と同じ表示になっている。画面の上の方にはツールバー931があり、このツールバーの右にあるのがID番号入力手段と、パスワード入力手段、設定OKキーである。ここではパスワードを入力するようになっているが設定程度の内容は秘密保持の必要もないのでなくても良い。

【0039】上記図3の表示画面の変倍のタブを選択す

ると図4に示す変倍画面に切り替わる。変倍ガイダンス表示部はユーザーに「倍率を設定して下さい。」などの情報の表示を行う。解除キーを選択すると入力した変倍率を初期の変倍率の100%にもどしつつ基本画面へ戻る。既定変倍キーはそれぞれ原稿サイズと用紙サイズに基づいてA3→A4、A4R→A5、B4→B5の変更は70%、B4→A4の変更は81%、B4→A3、B5→A4、B5→A4の変更は115%、A4→A3、A5→A4、B5→B4の変更は141%の既定の変倍を行うキーである。50%キーおよび200%キーはそれぞれタッチすると50%、200%の変倍設定になる。変倍設定表示部は現在の変倍率を表示している。拡大キーおよび縮小キーはそれぞれタッチするか押し続けると倍率1%刻みで倍率を変えることができる。設定キーを選択すると入力した変倍率を保持したまま図3の基本画面へ戻る。つまりここでも複合機本体の操作表示部2と同じである。

【0040】つぎに上記機能タブを選択すると図5に示す機能選択画面に切り替わる。機能ガイダンス表示部はユーザーに「機能を選択して下さい。」などの情報の表示を行う。その下に機能を選択するキーである両面キー、分割キー、マージンキー、OHP合紙キー、シートキー、枠消しキーなどが並べられている。前記両面キーを選択すると両面コピーモードになり、前記分割キーを選択すると、例えばA3原稿をA4用紙2枚に分割してコピーする。前記マージンキーを選択するとそのさらに詳しい画面(図示していない)に切り替わりマージンの設定が可能となる。前記OHP合紙キーを選択すると、OHPシートを手差し給紙部から給紙してコピーしつつその他のカセットから用紙を給紙して合紙とする。前記シートキーを選択するとそのさらに詳しい画面(図示していない)に切り替わりオモテ表紙、ウラ表紙、仕切用紙などの設定が可能となる。

【0041】前記枠消しキーを選択すると図6に示すようなさらに詳細な枠消しモード選択画面に切り替わる。枠消しモードガイダンス表示部に「枠消しコピーモードです。」や、「原稿の種類を選択して下さい。」などの表示を行う。もどるキーを選択すると前記機能選択画面にもどる。枠消し幅選択キーは選択した幅の枠消しを行う。シート枠消しキーを選択すると用紙周辺の枠消しを行い。ブック枠消しキーを選択すると用紙の周辺および原稿長手方向の中央付近の枠消しを行う。任意設定枠消しキーを選択するとその詳しい画面(図示していない)に切り替わり数値入力した細かい枠消しも可能となる。

【0042】その他タブを選択すると、パスワード入力画面や、部門管理画面、料金などの画面(図示していない)に切り替わる。しかし複合装置の操作表示部では後で説明するように設定呼び出し画面になる。

【0043】このように当該複合装置のかなり複雑な設定であってもパソコン画面上で操作表示部をさわりなが

ら行うのと同じように設定できる。図3～図6の全てのパソコン画面の表示の上のほうにあるツールバー931はどんな設定状態でも複合装置に設定を送るために常に表示されている。

【0044】ではユーザーがパソコン画面上で複合装置の設定して、複合装置の記憶手段41に格納するまでの手順を図7のフローチャートと再び図1のブロック図を用いて説明する。まずパソコンの画面上の前記複合装置設定画面932を呼び出し、上述したように設定を行い(S101)、設定が終了すればID番号およびパスワードの入力を行い(S102)設定OKボタンを選択する(S104)。もしここでID番号およびパスワードの入力がされていない場合は「ID番号の入力をして下さい!」などの警告を行いS102に戻る。ここではID番号およびパスワードを識別情報としているが、ID番号のみでもよい。また本件第4の発明のようにID番号やパスワードを用いずに時刻データを自動付与する形態でも良いし、本件第5の発明のようにネットワーク上で付与されているパソコンの識別番号でも良い。ここでPC1には設定情報および識別情報が確定したので複合装置へこれらを送信する(S105)。以上がパソコン側でユーザーが行う作業である。

【0045】複合装置が前記設定情報と識別情報を受信すると(S106)、本件第6の発明にあるように複合装置は予約状態になりかつ予約中であることを操作表示部2に表示する(S107)。この予約状態になるとさらに本件第7の発明にあるようにファクシミリ受信やプリンタ受信などのこちらの複合装置の状態に関わらず一方的に送信されてくるデータは画像メモリ43へ格納し、この予約状態が解除されたときに自動出力するようなモードへ切り換えても良い(S108)。受信した設定情報および識別情報のうち、設定情報は第1の作成手段16により操作制御パラメータ情報が作成されて(S109)、識別情報と関連付けられて記憶部42に格納される。前記予約状態は予約したユーザーがジョブを実行すれば解除されるのはもとより、所定時間経過後に自動的に解除されても良いし、同一ユーザーがパソコンから解除しても良いし、また画像メモリの残り容量を判断して解除しても良い。さらに予約されている設定より優先順位の高いユーザーの予約が入ることによる解除や、所定の予約数を決めて、この数を超えたときに古い予約は解除するようにしても良い。以上当該複合装置に操作制御パラメータ情報が格納される。

【0046】上述した例では新たな設定を行っているが、本件第2の発明では既に記憶部41にある操作制御パラメータ情報のうち1つを選択し、これに基づいて新たな設定をしても良い。この場合はPC1から記憶部41にある操作制御パラメータ情報の選択したものを第2の作成手段17に送り、これに基づいて設定情報が作成され、ネットワーク回線を介してPC1に送られる。バ

ソコンではこれを修正して、あとは上記新たな設定を行う手順と同様である。

【0047】つぎに複合装置側での設定呼び出しの手順を、図8の複合装置の操作表示部の概略図、図9のフローチャートと再び図1のブロック図を用いて説明する。まず操作表示部21の複数のタブのうち設定タブ2161を選択すると(S201)画面は図8に示すようになる(S202)。ここでID番号入力およびパスワードの入力画面2163に予めパソコンから設定したものをユーザーが入力したかを判断し(S203)、もしID番号入力およびパスワードの入力がされていない場合は「ID番号入力およびパスワードの入力を行って下さい！」などの警告を行い(S204)、S203に戻る。ID番号入力およびパスワードの入力が行われており、OKボタン2164を選択したときは(S205)ID番号およびパスワードを識別情報として記憶部41にある操作制御パラメータ情報から選択する(S206)。ここでもし該当する操作制御パラメータ情報がないときは、ID番号入力およびパスワードの入力が間違っている可能性が高いので「もう一度ID番号入力およびパスワードの入力を行って下さい！」などの警告をし(S207)、S203に戻る。S206で該当する操作制御パラメータ情報がある場合は、記憶部制御手段411は記憶部41からこの操作制御パラメータ情報を呼び出してエン트리手段14に送るとともにRAM11の操作制御パラメータ情報113は書き換えられ、当該複合装置はこの操作制御パラメータ情報に基づいた設定状態になる(S208)。このように設定状態を呼び出すと、実行手段13はこのエン트리されている操作制御パラメータ情報113に応じて当該複合装置の操作表示部2の表示をあたかも操作表示部から設定を行ったように切り換えるとともに、操作制御パラメータ情報に応じた制御を行う。

【0048】上記の手順ではID番号入力およびパスワードの入力で設定を呼び出しているが、記憶部41に格納されているID番号の一覧を表示しても良いし、本件第4、5の発明では時刻情報やパソコンの識別データの一覧を操作表示部2に表示しこれを選択することによりS202～S206の代わりにすることも可能である。このようにすればID番号がうる覚えでも呼び出すことができるし、時刻データの場合はおおむねの時刻から呼び出せるので便利である。パソコンの識別データで選択するのは、近年パソコンは1人1台が浸透しているので、自分の使っているパソコンの識別データくらいは覚えているからである。

【0049】本件第7の発明を図10のフローチャートに基づき簡単に説明する。当該複合装置にたいしてファクシミリの自動受信や、プリンタとしての印字の命令がきた場合(S301)、まず上述した予約の代わりとなる操作制御パラメータ情報の格納がされているかを判断

する(S302)。すでに予約が入っていない場合は通常の動作と同じように受信した画像データを用紙切れでもしていない限りはダイレクトにプリンタ部8から用紙に印字する(S303)。しかし予約が入っていた場合はまず画像メモリの空き容量が充分であるかを判断し(S304)、空き容量がない場合もダイレクトにプリンタ部8から用紙に印字し、充分な場合は画像メモリに1頁分の画像データを圧縮して格納する(S305)。これが最終ページでなく次のページがどうかを判断し(S306)、ある場合は再びS304に戻り、ない場合は受信画像データの格納は終了して(S307)、予約が解除されるのを待ち(S308)、予約が解除されれば画像メモリに格納された画像データをプリンタ部8から用紙に印字し(S309)処理は終了する。S308では予約の解除としているが、これは所定時間が経過して解除される場合や、予約していた操作制御パラメータ情報を用いてジョブがなされた場合などを含む。

【0050】

【発明の効果】本件第1の発明を用いれば、予め使用したい複合装置の設定をパソコンから設定しておき、その複合装置を使うときに操作表示部から識別情報を入力して呼び出すことにより設定がなされるので、使用したい複合装置が使用中であっても自分の設定が可能である。さらに識別情報により呼び出すので、複数の設定情報があっても間違うことなく選択しやすい。

【0051】本件第2の発明を用いれば、以前に設定された設定情報に基づいてそれを変更することにより新たな設定情報を作成できるので、複雑な設定であっても2回目以降は作業が容易になる。

【0052】本件第3の発明を用いれば、識別情報をID番号とすることにより、他のユーザーの設定を呼び出す失敗はなくなる。尚これはパスワードでも良い。

【0053】本件第4の発明を用いれば、識別情報を時刻情報として自動付与することにより、識別情報をユーザーの手を煩わすことなく付与でき、さらに時刻情報からどれが自分の設定かはおよそ見当がつく。自動付与されるものとしてはランダムに発生するパスワードを用いても良い。

【0054】本件第5の発明を用いれば、識別情報をパソコンの識別データとすることによりユーザーにより識別は容易である。尚最近のパソコンは1人のユーザーが用いる程度に普及してきているのでいっそう識別しやすい。

【0055】本件第6の発明を用いれば、設定情報が複合装置の予約を兼ねることにより、設定はしたが後のユーザーが割り込んだることにより使用できないということはなくなる。また予約が入っていることを操作表示部で知らせれば後のユーザーも調整ができる。

【0056】本件第7の発明を用いれば、予約が入っている複合装置にあとから入ってきたファクシミリ受信や

プリントデータは出力せずに画像メモリに格納し、予約が解除されてから印字されるので、予約を入れておけば後から入ってくるジョブに先を越されることなく、さらに後のジョブに対して迷惑をかけることもない。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の複合装置のブロック図である。

【図2】本発明の複合装置の操作表示部の基本画面である。

【図3】本発明のパソコン上での複合装置の設定画面（基本画面）である。

【図4】本発明のパソコン上での複合装置の設定画面（変倍画面）である。

【図5】本発明のパソコン上での複合装置の設定画面（機能画面）である。

【図6】本発明のパソコン上での複合装置の設定画面（枠消しモード選択画面）である。

【図7】本発明のPCでの設定から複合装置に操作制御パラメータ情報を格納するまでのフローチャートである。

【図8】本発明の複合装置の操作表示部の設定呼び出し画面である。

【図9】本発明の複合装置の操作制御パラメータ情報を呼び出す手順のフローチャートである。

【図10】本発明の複合装置が予約中にファクシミリを受信、またはプリンタの印字命令がきたときの手順のフローチャートである。

1；制御部

11；RAM

12；ROM

13；実行手段

14；エントリー手段

15；書き換え手段

16；第1の作成手段

17；第2の作成手段

2；操作表示部

21；表示部

22～29；キー入力手段

216；識別情報入力手段

3；ネットワーク用インターフェース

41；記憶部

411；記憶部制御手段

42；ビットマップメモリ

43；画像メモリ

44；CODEC

5；プリンターコントロール部

6；通信制御手段

7；スキャナ部

8；プリンタ部

81；給紙搬送手段

82；作像手段

83；定着手段

9；PC1

91；設定情報、識別情報入力手段

92；設定情報、識別情報入力手段

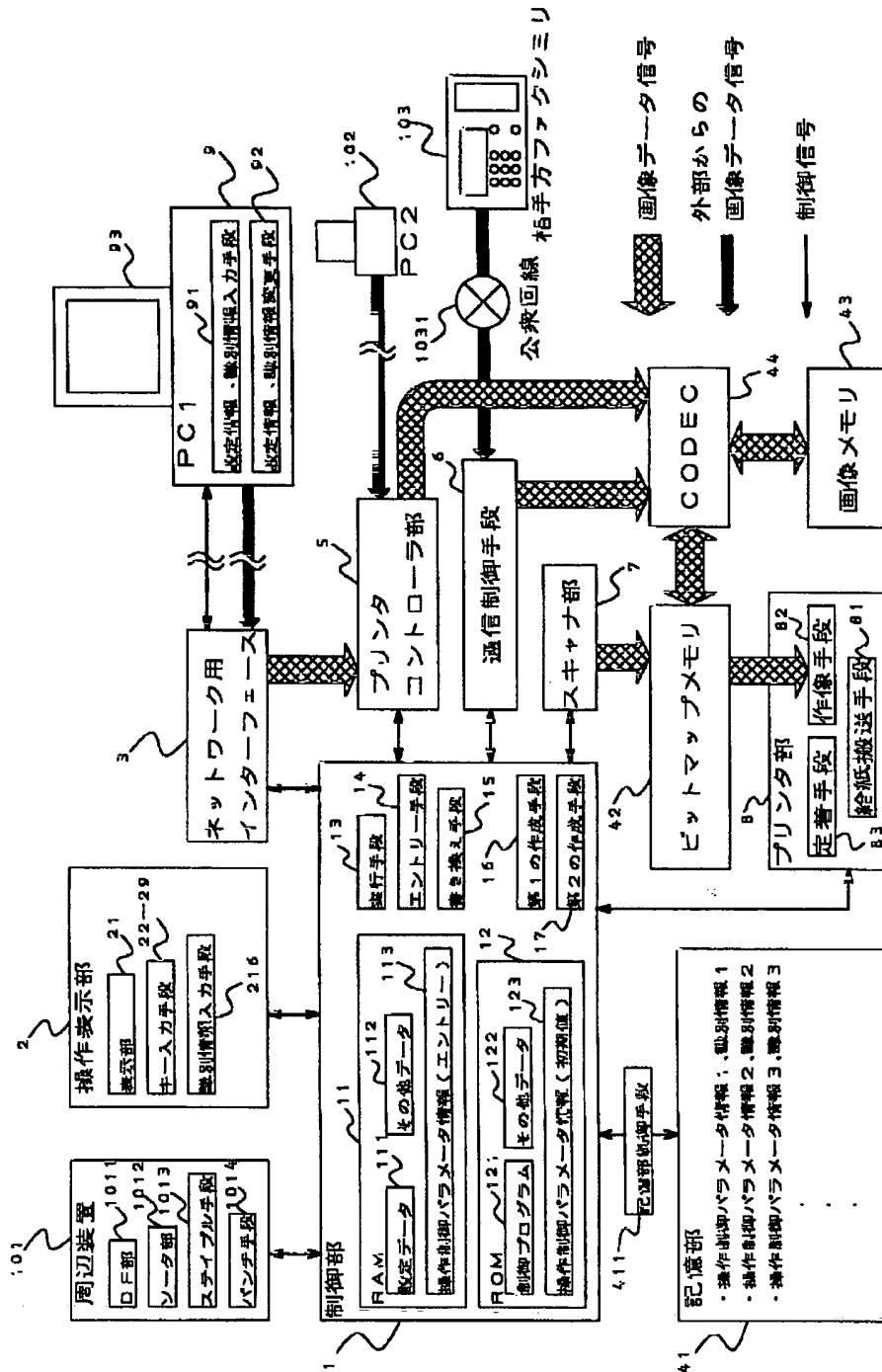
93；パソコン画面

101；周辺装置

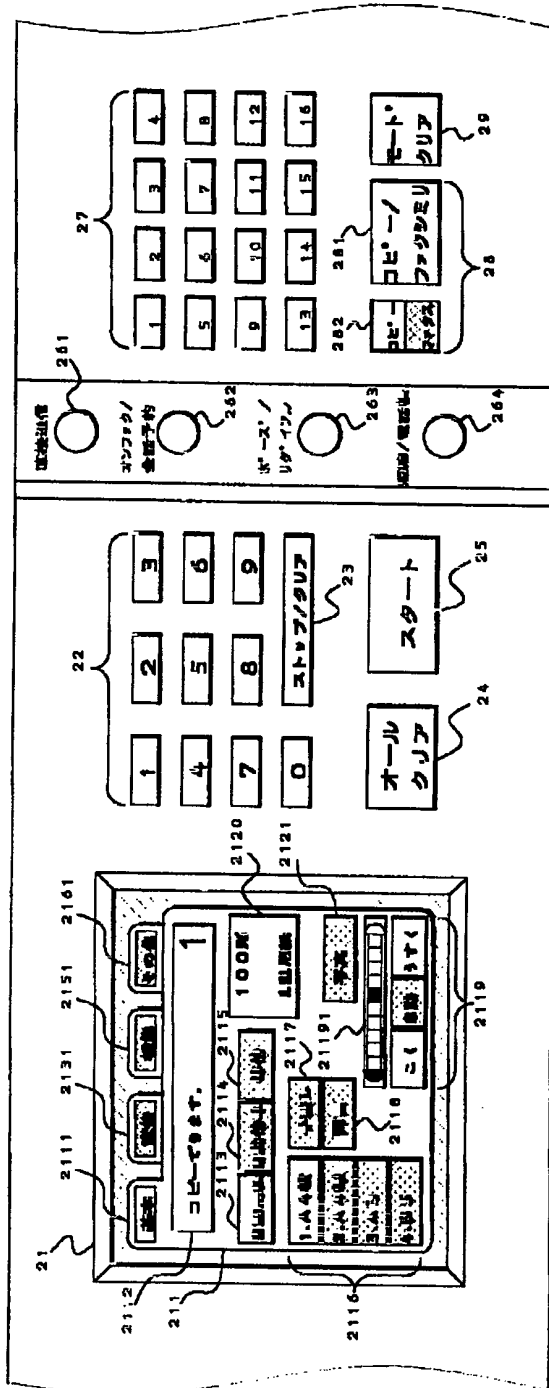
102；PC2

103；相手方ファクシミリ

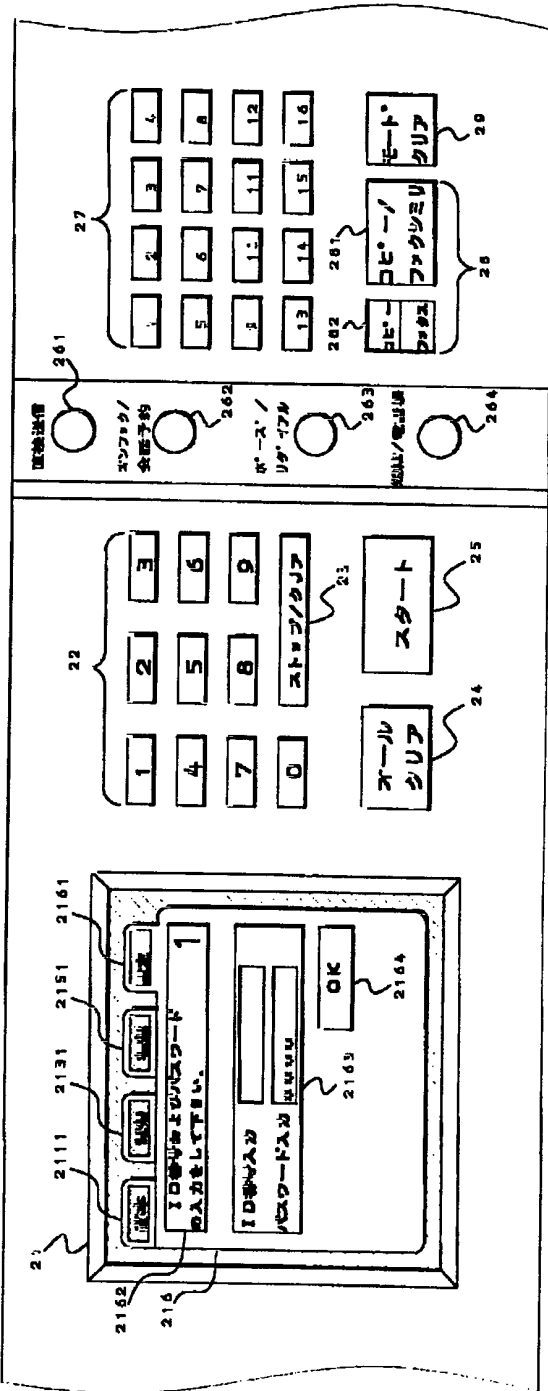
【図1】



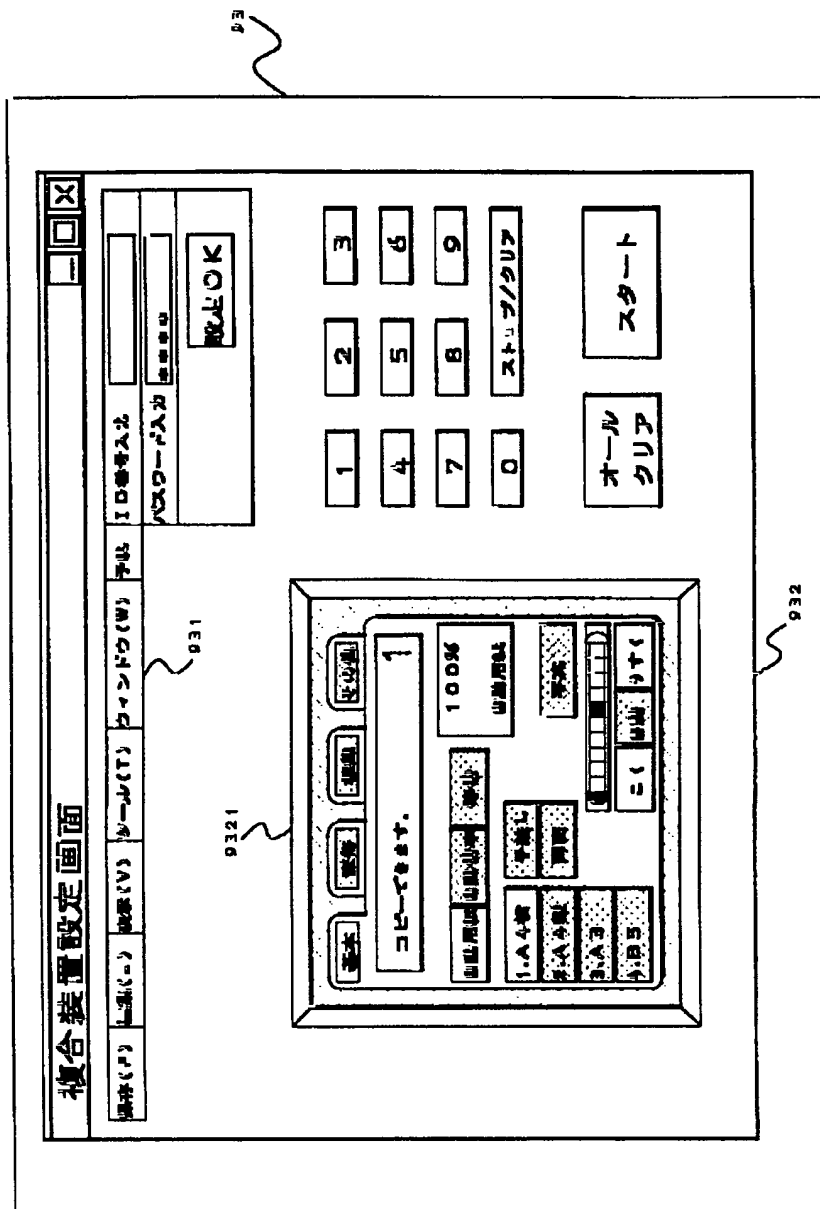
【図2】



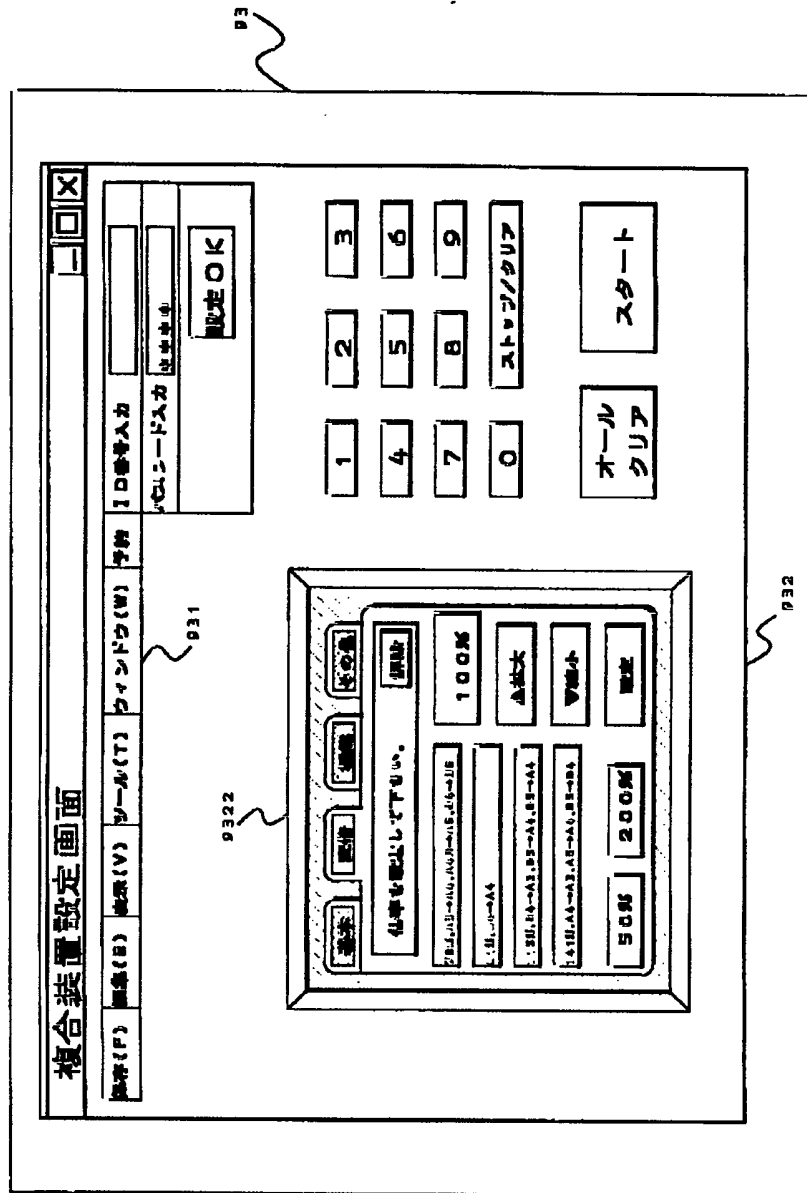
【図8】



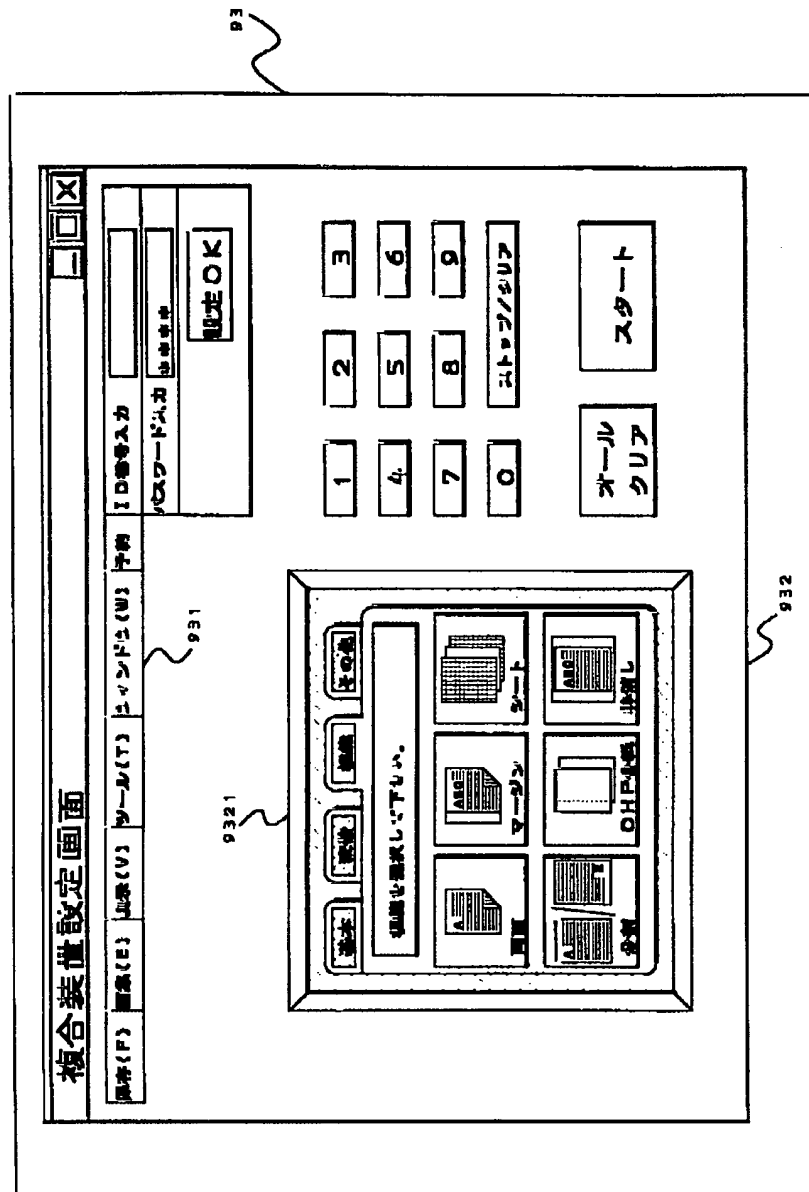
【図3】



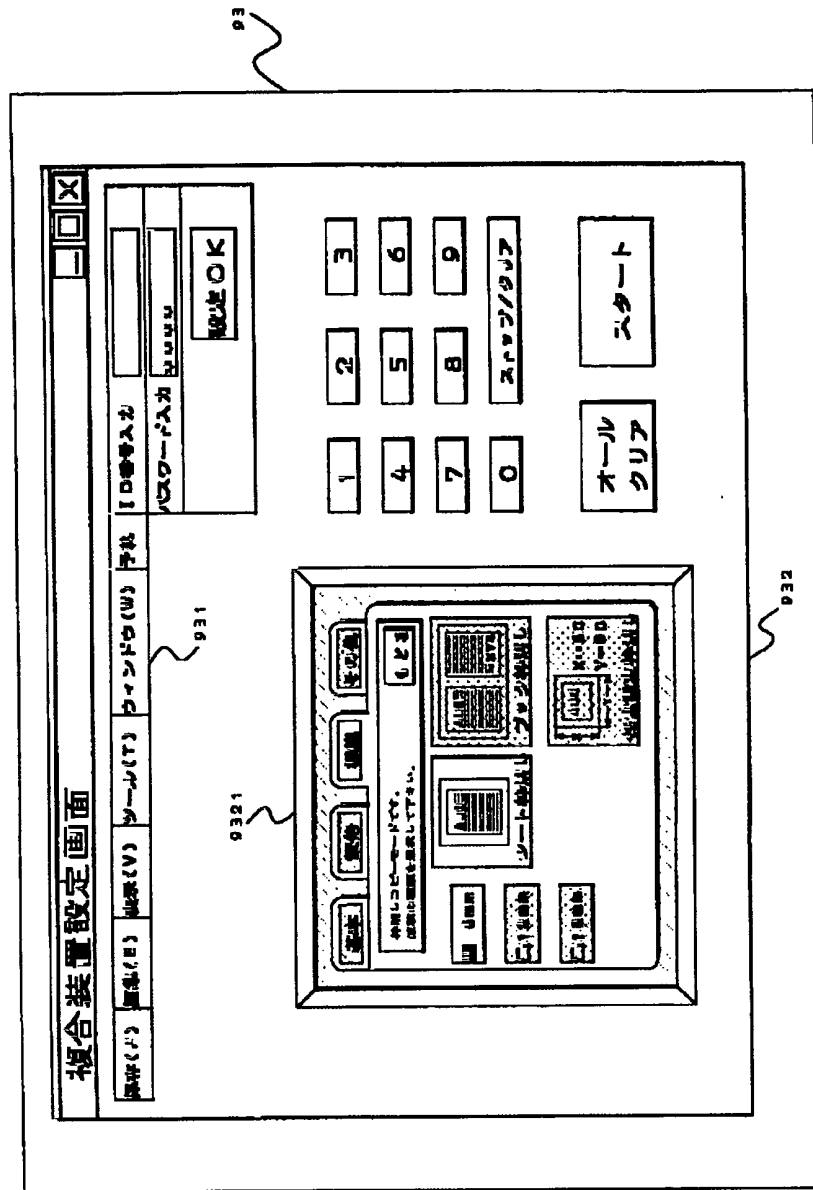
【図4】



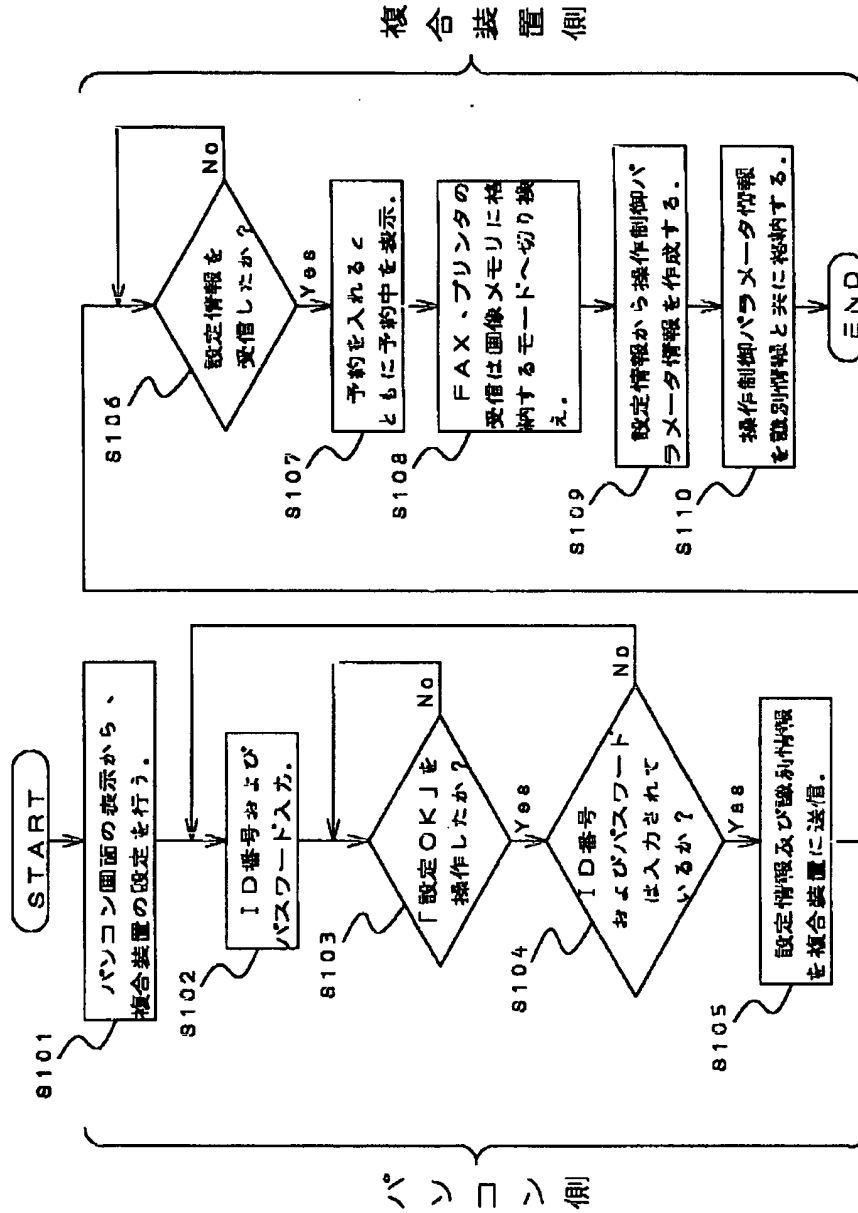
【図5】



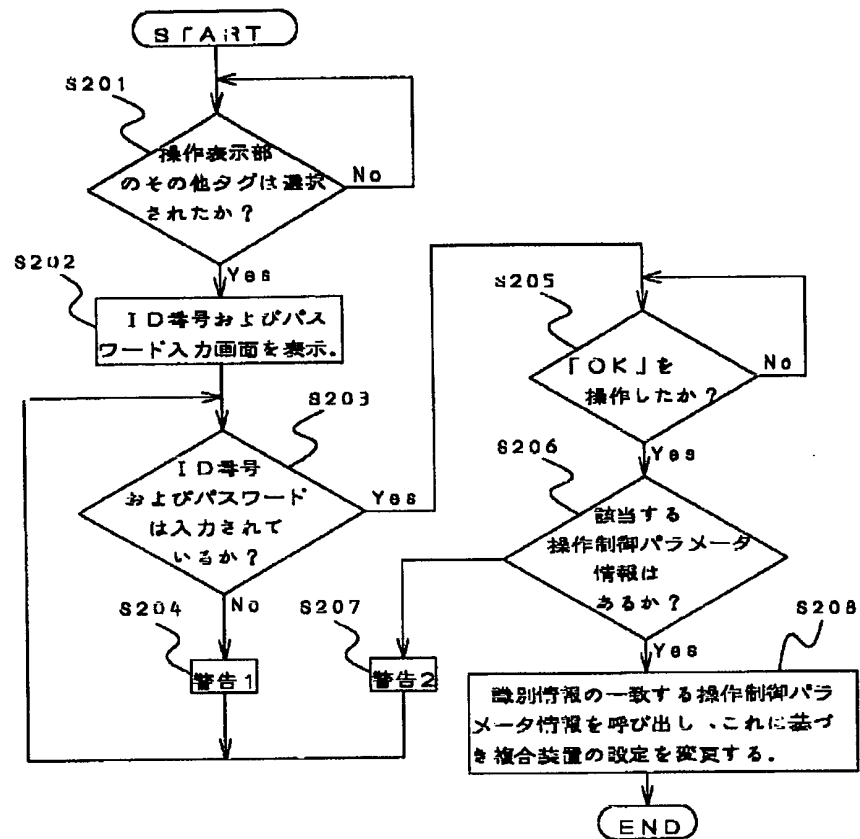
【図6】



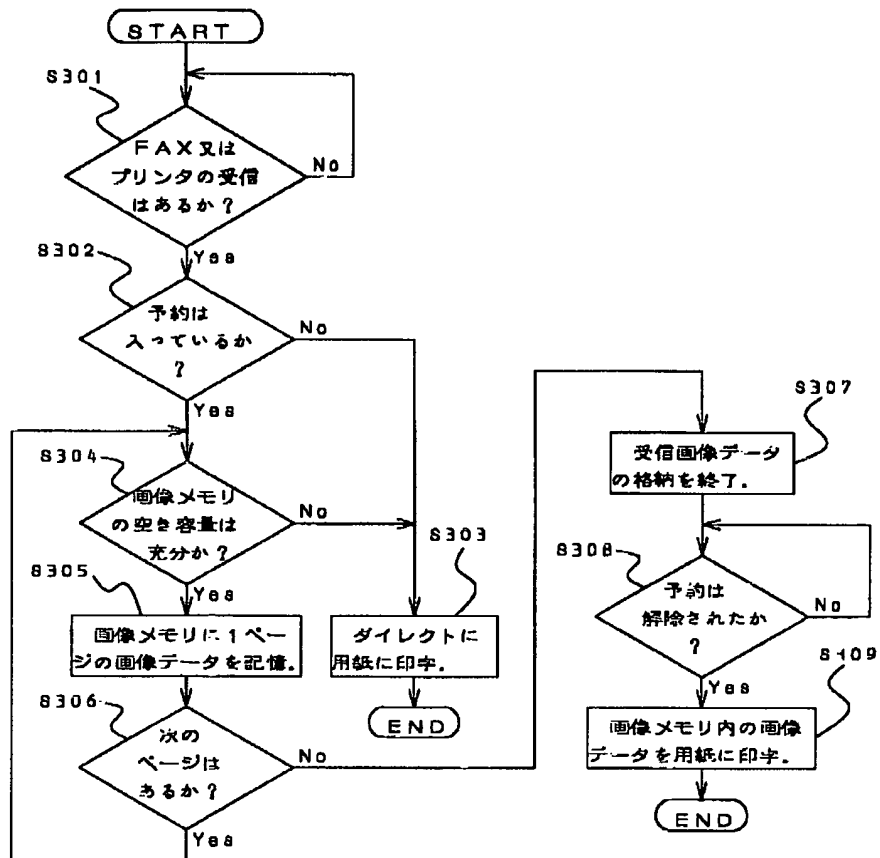
【図7】



【図9】



【図10】



フロントページの続き

Fターム(参考) 2C061 AP01 AP03 AP04 AP07 HJ06
 HN05 HN15 HQ06
 2H027 EE08 EJ11 EJ15 FA30 FB01
 FC03 ZA07
 5B021 AA01 BB01 CC05 EE01
 5C062 AA05 AA14 AA35 AB20 AB42
 AF06 AF12 AF14

THIS PAGE BLANK (USPTO)